

香川大学の教育システム基盤 ～学生メールとオンデマンドプリンタの利用動向～

林敏浩とゆかいな仲間たち
T. Hayashi and his lovely buddies
(香川大学総合情報センター・情報グループ)

1. まえがき

総合情報センターは2012年度にコンピュータシステムのリプレースを実施した。特に教育システムの学生サービスに大きな変化があった。まず、学内設置の学生メールサーバを廃止して Gmail を利用する運用形態に移行した。また、プリンタも課金制度に基づくオンデマンドプリンタサービスへ大きく舵を切った。本稿では、学生メールとオンデマンドプリンタの利用動向について述べる。

2. Gmail を利用した学生メール

本学の学生メールは、現在、Gmail を利用してサービス提供している。従前は各部局ごとに学内設置の学生メールサーバによりメールサービスを提供していた。図1に従前のメールサービスの利用状況(2009年度)、図2に現在の利用状況を示す。

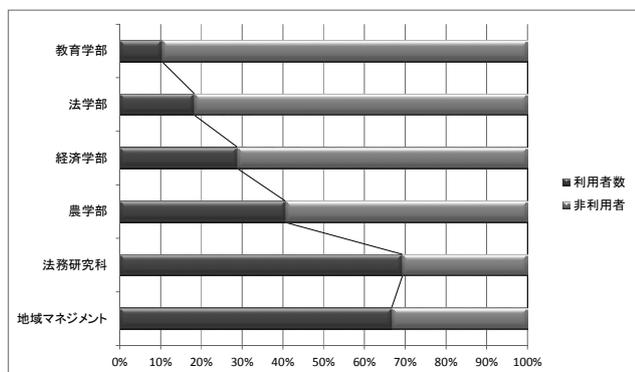


図1 2009年度メールサーバ利用率

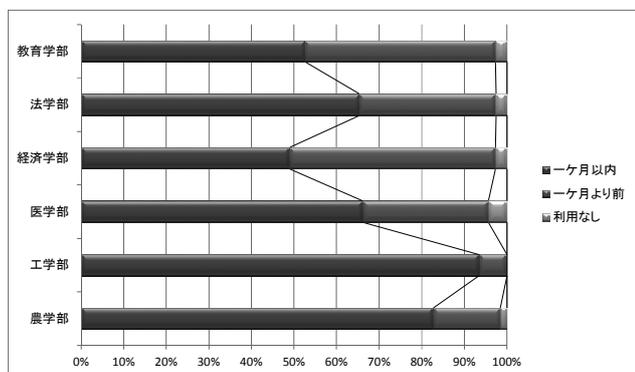


図2 2015年度前期 Gmail 利用率

3. オンデマンドプリンタ

オンデマンドプリンタの利用について、図3にプリント枚数、図4にコピー枚数の推移を示す。

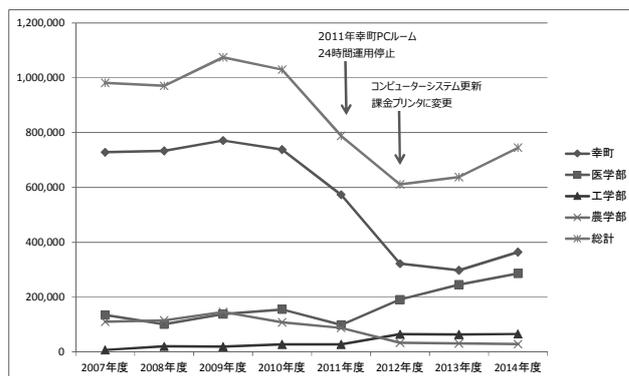


図3 プリント枚数の推移

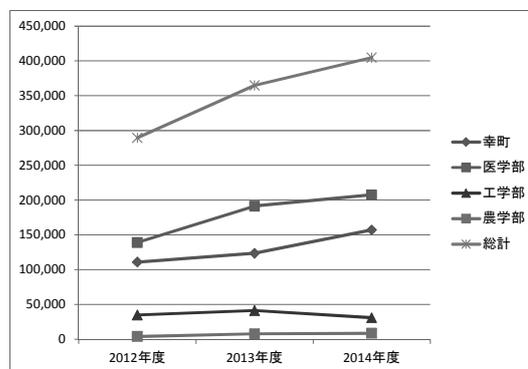


図4 コピー枚数の推移

4. まとめ

本稿では、学生メールとオンデマンドプリンタの利用動向について述べた。Gmailによる学生メールでは、学生のメール利用率がリプレース前に比較すると大きく向上した。一方、オンデマンドプリンタは、プリント枚数はいったん減少したものの、近年は増加傾向(幸町の動向に依存傾向)であることがわかった。また、コピー枚数は工学部を除き、増加傾向であることもわかった。